

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 消防防災課  
 担当名: 防災情報無線担当  
 内線: 3177

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B8	防災無線通信連絡体制強化費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	防災行政無線施設整備事業費	
事業期間	平成7年度～	根拠法令	災害対策基本法第8条			宣言項目	03	大地震など危機への備えの強化	
					分野施策	020516	危機管理・防災体制の強化		
1 事業の概要			5 事業説明						
災害時における正確かつ迅速な災害情報の収集・伝達体制を確保するため、防災行政無線施設の計画的な修繕・整備を実施する。 (1) 防災行政無線局修繕 配当留保額の減 $\Delta 1,007$ 千円 (2) 衛星県庁地球局進行波管修繕 $\Delta 46,568$ 千円 (3) さいたま市民医療センター防災行政無線整備工事 事業計画変更に伴う減額 $\Delta 926$ 千円 (4) 小児医療センター防災行政無線整備工事 事業計画変更に伴う減額 (5) J C I S、テクリス利用料			(1) 事業内容 ア 防災行政無線局修繕工事等(防災行政無線局舎修繕) 848千円 イ 衛星県庁地球局進行波管修繕 7,446千円 ウ さいたま市民医療センター防災行政無線整備工事 935千円 エ さいたま市民医療センターの防災拠点病院指定に伴い、防災行政無線を整備する。 オ 小児医療センター防災行政無線整備工事 0千円 J C I S、テクリス利用料 14千円 工事および設計業務委託発注事務の円滑化のため、J C I S (公共工事発注者支援データベースシステム) 及びテクリス (測量調査設計業務実績情報サービス) の利用契約をする。 (2) 事業計画 防災行政無線施設の計画的修繕等の実施並びに地域防災計画及び組織変更等に対応した防災行政無線施設の整備を行い、災害時における通信手段を整備・維持し、県民の生命・財産を守る。 (3) 事業効果 防災行政無線施設の修繕・整備等により、災害時における情報収集・伝達のための通信手段の維持並びに確保を行った。 (4) その他 (前年度からの主な変更点) ①さいたま市民医療センター防災行政無線整備工事 ②小児医療センター防災行政無線整備工事 (5) 補正予算の概要 事業計画の変更に伴う減額 (委託料、工事請負費)、配当留保額の減額 (旅費、需用費)						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 緊急防災・減災対策事業債・元利償還金の100%(さいたま市民医療センター防災行政無線整備工事)									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円									
			財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
予算額			諸収入	県債					
決定額	$\Delta 48,501$			$\Delta 47,000$				$\Delta 1,501$	9,243
現計額	57,744	2	47,000					10,742	